

ペアレントキャンプ
水野先生

こんにちは。先日は卒業カウンセリング"ありがとう"ございました。
1年間、支援を受つ、初めてお会いしましたが、お声はいつも聞いていたので、懐かしい気がしました。お話をし、改めて1年間を振り返ることができ、息子の成長を再確認することが出来ました。

息子は、神経質で、不安感が強く、我慢が出来ず、幼稚園児のころから行き渋りがありました。

しかし、1年生の1学期は、ほとんど問題なく登校できたので安心していました。2学期に入り、初日は登校しましたが、2日は分団登校の集合場所、次は校門まで、次は教室までと、私がついていくようになり、1人で学校に行くなくなりました。理由を聞いても、「お母さんがいい」と泣き叫ぶばかりでした。

それから、担任の先生と相談した結果、母子登校が始まりました。私がいれば、学校では普通に過ごしているため、どうしていいかわからず、とりあえず学校について行く日が続きました。

9月の終わりに、チック症状もでてきて、私は、愛情不足？息子はおかしくなっちゃったの？と混乱していました。幼稚園児の弟もいましたので、精神的にも肉体的にも追い詰められていました。

近所にバの専門医があり、相談してはもらいましたが、息子は病院に行くだけで、おこい拒絶反応を示し医者とは話したことがらず、私は、愛情を注いで下さいといわれるばかりで、何の解決にもなりません。今思えば、私の過干渉が、息子の自立を妨げ、環境変化への適応が出来ない子にしていたのですが、その当時は、私の愛情不足から、母子が分離不安になったのだと、思っていました。

そんな毎日を送っていた11月に、ネットでペアレンツキャンプの事を知りました。そこで、家庭教育理論を知り、私の過干渉、過保護が息子の私への依存を招いており、また、主人が父性対応ができないため、息子の問題行動を抑える事が出来ないことがわかりました。でも、医者に対する拒絶反応を見ていたことで、どうしても外部の人を家にいれることはしにくく、家族だけで解決したいとお願いました。快く受け入れて頂きありがとうございます。

まずは、家庭教育支援を受け、PCMを実践し、私は、怒りの対応から悲しみの対応へ、主人は、父性対応を実践しました。最初は、親の対応がうまくいきませんでしたが、1・2ヶ月もするうちにその効果は、出てきました。息子が素直になり、問題行動もツブなくなり、主人の父性対応にも反省できるようになりました。水野先生には、1年生のうちに、2,3日一人で登校出来ればいいよね、と言われていたが、3月初旬には、一人で学校に行けるようになっています。

ただ、すぐ春休みに入り、クラス替えや担任が変わるのでどうなるかという不安でした。

4月になり、2年生になりましたが、やはり行き渋りが始まりました。しかし、これは、母子依存からではなく、環境変化への適応ができていないための不登校化傾向だと言われ、ほとんどの場合、また別の問題が発生したのかあと落ち込む日々でした。でも、朝の対応、休日の対応を、今まで散々してきたため、たいてい崩れる事もなく、乗り越える事が出来ました。

1学期を終え、昨年のように2学期を迎えてはいいまいと、夏休みの過干渉を控え、宿題は、チェックするだけにしようと決め

なんとか無事に今を迎えています。

現在の息子は、一人で元気に「行ってきます」と玄関を出ていきまふし、帰ってくるとすぐお友達のうちに遊びに行き、帰ってきています。

宿題は、寝る前にしかやりませんが、私が促すこともよく、自分でできます。以前の私に依存していた息子からは、想像もつかないほどの成長です。

今では、かんしゃくを起すことも少なくなり、起こしたとしても（私の対応さえ間違えなければ）自分で收拾できるかかつきました。家庭も明るくなり、干渉しなくなったので、私も息子が楽になり、良い方向に進んでいると思います。これから色々な事があると思いますが、息子とともに成長していきたいです。今まで支えてくれて、一糸垂れずに乗り越えようと努力してくれた主人にも感謝しています。

今の我が家があるのは、水野先生のおかげです。親が変われば子供も変わる、親が戻れば子供も戻ると言葉をいつか心に置き、これからも家庭教育を実践していきたいです。

水野先生、本当にありがとうございました。お体に気を付けて、これからも日本中の家族を救って下さいね。

2011年11月22日